

## 東川ウオーキング①源流～御幸町付近（遺跡、花見、民話）

2018-4-8 記 大野 孝

実施日時：2018年4月5日（木）9：30～14：30

参加者：23名

平成30年4月1回目の行事として、東川ウオーキングが5日（木）に行われました。この日は前日までの連日の夏日が嘘のような、少し寒い程の風もある絶好のウオーク日和に恵まれました。総勢23名の会員が参加し和気あいあいとした歩きと、歴史を楽しみました。

東川は三ヶ島の源流部から市内の中央部を西から東に流れ、坂の下で柳瀬川に合流する全長12.6kmの荒川水系の一級河川です。今回は第1回目として源流部から御幸町の旭橋まで約7kmを散策しました。

東川の源流には2ヶ所あると言われています。1ヶ所は狭山湖から、もう1ヶ所はマンホールのある今回の場所です。

9：30 小手指駅に集合しバスで芸術高校下車。同校西側の坂を上った先の南斜面の畑に濃いピンク色の芝桜が一面に咲いておりました。道の両側の桜はすでに散っていましたが、ハナモモ、ハナズオウなどが満開で公園の中を歩く雰囲気でした。

この斜面を下ってトトロの森9.10号地を過ぎた左手にある梅林の畑の奥隅に、目指す「源流」と言われているコンクリートのマンホールが見つかりました。



蓋には市のマークが記されており U 字溝が繋がっていましたが水流は無く地下の流れも確認できませんでした。付近には源流関連の案内標示板もなく、はた目にはただのマンホールがあるのみ。残念ながらこれが実態です。ここから数百メートル下ったところに細い小川が現れますが、この辺りが目視で

きる「源流」と思われます。

更に流れに沿って下って行くと三ヶ島一丁目の「馬頭観音」が現れ、その先の小山の上には三ヶ島第一地区の鎮守様である「八幡神社」の杜が見えてきます。。口碑によると当社は鎌倉八幡宮の分霊を祀ったもので、八雲神社と湯殿社の２社を境内社として遷座を受けました。古くから 7 月 15 日には”天王様”と称する疫病除けの祭礼が行われています。

更にコンクリートで護岸された川沿いの道を歩くと「箆（えびら）の梅」を見ることができます。箆とは矢を入れて背負う武具のことで、「太平記」によると 1352 年「武蔵野合戦」において足利軍の饗庭命鶴丸（あえばのみょうつるまる）が付近の梅の枝を折って箆に挿し戦いに挑んだ場面が記されています。現在の梅の位置は川幅拡張工事により移植された場所です。当日は既に花も散り小さな実を付けているところでした。この先の下流は側道が離れておりしばらく川を遠目で見ながら県道を歩きました。ローソンと北野運動場でトイレ休憩した後、小手指元町へ入り川の近くを歩くことができました。運動場から小手指元町の上流域辺りは、人工の護岸が少なく自然が残る風景でしたが、増水した場合の治水対策に課題がある様に感じました。



馬頭観世音



八幡神社西参道前

12:20 大六天の「すき家」に到着、ここで昼食を摂り 13 時に午後の部を出発しました。ここから先は全域がコンクリート護岸に側道が設置されており、両岸に咲く八重桜や川面に遊ぶ数羽の鴨を眺めながら歩きました。西所沢の「六所神社」境内には特設舞台とぼんぼりが飾られ、祭礼準備中の様子でした。更に西武線のガード下を抜けた国道付近に「三つ井戸」と「弘法大師お堂」があります。「三つ井戸」については【諸国修行の旅で所沢を通りかかった弘法大師が、水汲みで苦労している地元民の話を聞き、井戸掘れば水が出るという三か所の地面を示した】との民話が残っており毎年 8 月 20 日 21 日には大師様を祀ったお堂の前で祭礼が行われています。

次に「弘法の湯」の高い煙突の前を通り「新光寺」に着きます。境内では作り物の様にまん丸の八重桜の花としだれ桜に囲まれ、観音様の柔らかな微笑みを拝しました。又本堂の横手には「観音像を拝む大勢の庶民」を描いた文化財級の大絵馬を鑑賞しましたが風雨にさらされる戸外に展示されており、保存状態が心配でした。次の目的地の「薬王寺」には「新田義宗終焉の地」の碑や江戸時代の女流俳人三利恵の句碑などがあります。境内にある二本の枯れかかった銀杏の大木からは新芽が吹き出し、命の逞さを感じる風景でした。



弘法大師お堂



新光寺の桜を背景

寺の前の細い道を東に進み所沢名物「荒幡肉店のコロッケ」の揚げたてを買い求め、14：30 本日の最終目的地東川に架かる「旭橋」に到着しました。この橋は明治44年飛行機新道が整備された際、土橋として架けられたが交通量の増加に対応するため、昭和5年（1930年）現在の橋に架け替えられました。両端の親柱には赤御影石を使用し西洋風の彫刻を施した、モダンなデザインで強固な橋に生まれ変わりました。（平成21年8月国の登録有形文化財指定）



旭 橋

ここまでの川の長さは約 7km ですが歩行距離としては1 割程長いと思われます。  
所要時間は休憩を除き3時間30分、快い疲れが残りました。

|          |       |       |      |      |
|----------|-------|-------|------|------|
| 担当：Bグループ | 粕谷 眞  | 芦沢日出子 | 上村恭代 | 島川謙二 |
|          | 長坂貴美子 | 大野 孝  | 三島昭雄 | 安田好子 |

